

科学研究費補助金（基盤研究（S））事後評価

課題番号	16101008	研究期間	平成16年度～平成20年度
研究課題名	森林樹木種および外生菌根菌種の網羅的分子遺伝解析と分子生態データベースの構築	研究代表者 (所属・職)	宝月 岱造（東京大学・大学院農学生命科学研究科・教授）

【平成22年度 事後評価結果】

評価	評価基準
	A+ 期待以上の研究の進展があった
○	A 期待どおり研究が進展した
	B 期待したほどではなかったが一応の進展があった
	C 十分な進展があったとは言い難い

(意見等)

本研究では、目的の一つである森林樹木種および外生菌根菌の網羅的な分子遺伝解析を目指し、それを可能にするマクロサテライトマーカーの作成手法の開発、特に外生菌根菌については、多大で、貴重な成果を挙げており、多くの生物種に応用可能で、波及効果が期待できる。これを裏付けるものとして4つの学会賞の受賞がある。一方、もう一つの目的である、広いスケールでの樹木の遺伝地理的構造の解析については、その準備、すなわち解析するにあたってのマクロサテライトデータは集積しつつあるが、実際の解析には至っているとは言い難い。今後、継続して目的を達成することが望まれるが、従来の遺伝的変異や構造に関する研究結果が必ずしも森林保全・再生に結びつくとは言えず、これらの点を留意されたい。